

open online course) など、数年前まで無かった、あるいはほとんど知られていなかった概念が重要な役割を果たすようになってきた。

日本医学教育学会はこうした時代背景と医学教育の重要性や専門性の高まりを受け、第16期(2009年度)から情報基盤開発委員会を設置し、医学教育の実践や研究に役立つ情報基盤の開発と提供とを開始した。その主な活動は、医学教育用語、有用な書籍・論文、医学教育に関連する重要な情報などをインターネット上で総合的に提供する「医学教育情報館 MEAL (medical education assets library)」の開発、2010年版「医学教育白書」の刊行であった。第17期(2012年度)には、従来の広報委員会と情報基盤開発委員会が統合され広報・情報基盤開発委員会となり、学会の

広報と情報基盤開発とを一体化した活動を行っている。学会公式ホームページ、MEALに加え、2013年からは速報性の高い新たな広がりを持つ経路としてFacebook[®]による広報も開始した。これらの広報や情報基盤の開発以外にも、2012年4月のMEALを題材としたシンポジウム、学会大会におけるパネルディスカッションやシンポジウムにおいて、情報基盤のあり方を会員とともに議論している。2014年7月には2014年版「医学教育白書」を刊行する。

副委員長：大西弘高、丹羽雅之、委員：白井いづみ、川崎勝、菅沼太陽、杉本なおみ、鶴田潤、守屋利佳

3. 国際関係委員会

吉岡 俊正 (国際関係委員会前委員長(平成25年7月まで)、東京女子医科大学医学部医学教育学)

国際関係委員会は、1) 医学教育に関する国際的情報の収集と発信、2) 国際的医学教育活動、3) 韓国医学教育学会との学会間協定に基づく交流、そして4) 日本医学教育学会大会インターナショナルセッションの運営を行っている。2011年に今期の委員会が発足し、現在8名の委員で構成されている。

1) については国外の医学教育にかかわる情報を収集し、委員会ホームページ上に掲載している。また、学会の英文HPを作成している。2) は西太平洋地区医学教育連盟 (Association for Medical Education in the Western Pacific Region, AMEWPR) が、東アジア、オセアニア地域の医学教育に関わる地域部会であり、日本医学教育学会が日本の代表を派遣している。AMEWPR は世界医学教育連盟 (World Federation for Medical Education, WFME) の地域部会で、WFME は医学教育の国際政策 (educational

politics) を決定している。現在、WFME グローバルスタンダードに基づく医科大学国際認証制度の構築途上であり、AMEWPR を通じて国際関係委員会に情報が集積される。AMEWPR は、2009年フィジー大学医学部、2011年にモンゴル保健科学大学医学部、2012年に東京女子医科大学医学部、2013年にサモア保健科学大学医学部でグローバルスタンダードによる国際外部評価を行っており、国際関係委員会委員はこれらの活動に参画している。3) では、毎年本学会と韓国医学教育学会の大会で招請講演を行い、両国の医学教育の進歩や課題について会員が理解を高めることをめざしている。4) の大会で行われるインターナショナルセッションは、海外からの医学教育研究、国内の研究者の国際的環境での研究の発表の場となっている。ポスターセッションとして始まったが、第42回大会からは口演も加わった。演題募集から優秀発表の選定を委員会が担当して